

平成  
28年度  
2016年度



# 都産技研活用事例集

製品開発・技術課題解決事例のご紹介



## はじめに

---

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（以下、「都産技研」という）は、東京都により設置された試験研究機関であり、東京都内の中小企業に対する技術支援（研究開発、依頼試験、技術相談、人材育成など）により、東京の産業振興を図り、都民生活の向上に貢献することを役割としています。

平成23年度から平成27年度までの5年間、第二期中期計画に沿って、自らの技術や製品で市場に打って出る「開発型中小企業」支援に力を入れてきました。平成28年度からスタートした第三期中期計画では「3Dものづくりセクター」を新設するなど、開発型中小企業の支援の一層の充実を図っています。また、中小企業の海外展開支援強化、生活関連産業等のサービス産業支援の拡充、高度な人材育成にも力を入れて取り組んでまいります。

こうした活動成果について、まとまった形でより多くの方々に知って頂くために、「都産技研 活用事例集」を発行しています。

本事例集では、冒頭で都産技研を活用いただいた企業の事業の発展や成長ストーリーを、「お客さまインタビュー」として2件掲載しました。つづいて、お客さまの課題解決につながった事例を全部で10件紹介しています。この10件について、都産技研で活用した事業メニューを表示するとともに、「製品開発」、「品質証明」、「性能評価」、「海外展開」の4つに分類しました。

都産技研では全職員が、「志が高く、熱く夢を語れる経営者・技術者の多い中小企業こそがイノベーションを起こす」との強い信念の下に支援業務に取り組んでいます。

本事例集が、利用企業の皆さまのさらなる発展の一助になるとともに、都産技研のご利用の参考になれば幸いです。

最後に、本事例集の作成にあたりご協力をいただきました企業の皆さまに心から感謝申し上げます。

平成 29 年 1 月

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

理事長 **奥村 次徳**

---

# 都産技研活用事例集 目次



## はじめに

## お客さまインタビュー

01 株式会社ニシ・スポーツ	4
02 株式会社生出	6

## 製品開発

パームサポーター楽書（株式会社菊池ハイテクサプライ）	8
コードレスビニール溶接機 ジョインティー（板橋匠屋本舗）	8
光コネクタ断線検出器 OCCR（株式会社オプトゲート）	9
kulis ～くみひもうるしペン～（株式会社龍工房）	9

## 品質証明

居住区域内に設ける隔壁の材料（遮音戸）（シンコウ株式会社）	10
点字鋏「ハートビルマーカ―」（株式会社エム・アンド・エフ）	10

## 性能評価

リフォーム畳®（大山畳店）	11
竹チップボード（株式会社エスウッド）	11
減音緩衝ジョイントマット（セキスイウレタン加工株式会社）	12

## 海外展開

自転・公転真空ミキサー（株式会社シンキー）	12
-----------------------	----

## 都産技研案内

ご利用企業の構成	13
ご利用方法	14
アクセス	16

※企業掲載順 順不同

活用した  
事業メニューの  
見方

- |          |               |              |
|----------|---------------|--------------|
| 依…依頼試験   | オ…オーダーメイド開発支援 | セ…技術セミナー・講習会 |
| 機…機器利用   | 技…技術相談        | 共…共同研究       |
| 実…実地技術支援 | 外…外部資金導入研究    | 会…技術研究会      |

## 株式会社 ニシ・スポーツ

# 「すべてはアスリートのために」 記録に挑戦する陸上競技者をサポート

### 世界の陸上競技発展へ 貢献するために

昭和26年創業の(株)ニシ・スポーツは、競技者が最大のパフォーマンスを発揮できるよう、日本だけでなく世界の競技会でも陸上競技用器具を供給する専門メーカーです。

最高の競技環境を提供するため、運営スタッフを含め、陸上競技に携わるすべての人が安心して使用できることを目指した競技道具、ウエア、トレーニング器具などを提供しています。

陸上競技は、一つの会場でいくつもの競技が同時進行で行われるため、タイムスケジュールが厳格に決められています。競技器具や用具に不具合が生じ競技が中断することがないように、製品開発や改良において高い品質が求められます。

### 3Dプリンターで 高精度の試作を実現

平成18年に都産技研がAM※(3Dプリンター)を導入したことをホームページで知りました。

当時は翌年、大阪で開催される

“2007年世界陸上競技選手権大会”に向けて、ハードル開発の真っ最中でした。開発したハードルは、樹脂の部品を多用して軽量化を図り、機能的にも特徴のあるものでした。AMが話題になり始めた頃で、三次元CADでデータを作ってはいましたが、その部品を試作する方法がありませんでした。石膏や紙で試作する方法はありましたが、脆くて、跳んで倒したりするハードルの検証には向きません。そこで、都産技研の総合支援窓口で電話して、現在の3Dものづくりセクターの利用が始まりました。

「都産技研のナイロン粉末造形装置で試作したところ、完成品に近い強度があり、テスト段階で実際に使用することもできました。そのお陰で、製品化の目途がついたのです。

その後も様々な製品の試作を支援いただいておりますが、近年はより高性能なAMも導入されたことで、より高精度な試作も可能になりました」(木村氏)

平成28年夏に開かれた第32回全国小学生陸上競技交流大会から競技種目になったジャベリックボール

投げに公式採用された「ジャベボール」も(株)ニシ・スポーツのオリジナル製品で、都産技研のナイロン粉末造形装置で試作して開発しました。

「羽根の部分が薄く、試作は困難かと思われましたが、新たに導入された精細な造形が可能なナイロン粉末造形装置を用いることで、強度と薄さを兼ね備えた試作を行うことができました」(木村氏)

競技用に特化して製作されたジャベボールは、どのように投げても柔らかい先端部分から落ちるので安全性がある上、正しく投げると“ヒュー”と音がするため、子供たちにとって競技自体が楽しいものになりました。

### 各種試験により 客観的に性能を評価

都産技研では試作だけでなく、試作をもとに製作した製品の性能や耐久性を調べることもできます。

ハンマー投げで使われるハンマーは、そのハンドルの強度が規格に適合しているかを確認する必要があります。これには万能試験機を利用し

お話を伺った方



第一開発部  
アシスタントマネージャー

**木村 裕次 氏**

「2020年の東京オリンピック・パラリンピックにももちろん貢献したいですね」  
学生時代は短距離の選手だったからこそ、商品開発へのこだわりがあります。

て、ある一定の力で引っ張ったときにハンドルが過度に伸びないか測定しました。また、海外から輸入したスタートインフォメーションシステムというフライングを発見する装置が正確に作動するかどうかを証明するために、振動試験機で検証したこともあります。陸上競技用器具は屋外での使用に耐えられることも重要なので、耐久性を測るために紫外線を当て続ける耐候性試験も実施しました。

「都産技研には、幅広い分野の研究者がいて、試作や試験をするだけでなく、改良に向けて相談に乗ってくれるので、私たち開発担当者にとって本当にありがたい存在です。

今後は、陸上競技市場で培ったノウハウを活かし健康・生涯スポーツへの事業展開を視野に、グローバル企業を目指したいと考えています」  
(木村氏)

※ AM は、Additive Manufacturing の略で、積層造形法のことです。

**製品紹介**

**ジャベボール**



平成 28 年 8 月 19～20 日に横浜日産スタジアムで開かれた第 32 回全国小学生陸上競技交流大会で公式採用されたジャベボールは、楽しみながら「投げる」力を鍛える道具として開発されました。  
全長約 320mm、ボール部約 160mm、重さはソフトボールとほぼ同じ約 140g。  
価格 2,100円（税抜）。



◀ナイロン粉末造形装置を用いた試作品

▲ジャベボール第一号

活用した事業メニュー 依 機 技

**会社概要**

**株式会社 ニシ・スポーツ**

- 代表者：代表取締役社長 丸山 博之
- 創業：昭和 26 年 5 月
- 所在地：東京都江東区新砂 3-1-18
- URL：http://www.nishi.com

**■主な事業**

陸上競技専門メーカーとして、器具、ウェア、トレーニング機器などの開発および製造販売を主軸に、競技計測、大会運営、施設管理など競技会運営システム全般をも担う。



## 株式会社 生出

# 「地球環境にやさしい」をキーワードに 21世紀型の製品開発にチャレンジ

### 環境負荷低減への貢献と 植物由来原料主体の製品開発へ

創業 59 年の(株)生出は、家電製品や精密機器などに使われる緩衝梱包材のエキスパート企業です。昭和 43 年に旭化成(株)が開発した樹脂発泡製品サンテックフォームの指定工場になって以来、発泡体の設計、加工、販売を主力事業として展開しています。取引先は、精密機器はもとより、電機、自動車メーカーなど基幹産業から一般保冷用の食品パッケージやCD・書籍の物流パッケージなど数百社に及びます。

「発泡材料業界には、製品が画一的で価格競争に陥りやすい上、生産拠点の海外移転などによりマーケットが縮小しているという課題があります。そうした中で受注機会を増やしていくには、競合他社よりもさらに品質が良く、コストパフォーマンスに優れた製品を提供し続けなければなりません」(生出氏)

平成 14 年にはタイ工場を設立しました。緩衝梱包材は単価が安く海外へ送ると輸送費の方が高くなってしまいうため、生産拠点を海外に移転

した企業をターゲットに現地で梱包材を提供し需要をのばしています。さらに(株)生出が取り組んだのが、再生原料と植物由来原料から構成される『地球環境にやさしい』発泡体の開発でした。

発泡材料に使われている原料は、90%以上が石油系樹脂です。石油系樹脂は枯渇性資源であり、また燃焼時のCO<sub>2</sub>排出量が多く地球温暖化の原因となります。さらに、使用後のプラスチック廃棄物が大量に発生するという課題もあります。

包装材料が抱える環境問題への対応として、多くの企業では3R(Reduce、Reuse、Recycle)などに取り組んでいますが、このような取り組みには限界があります。

### 高付加価値の 新たな材料開発に向けて

「平成 27 年の春から製品化に向けて本格的な試作を始めました。多い時には週 1 回都産技研に通い、引張強度や引裂強度、圧縮強度などの試験を繰り返し、梱包材として安定した品質を確保できる原料の配合割合を決定しました。また、湿度や温

度、紫外線の影響などお客さまの想定する使用環境における材料の耐久性や、水の浸透程度などさまざまな試験により性能の検証を行いました。規格が制定されていない試験もありましたが、都産技研には試験方法や結果にもとづいた改良方法のアドバイスをいただきました」(鞠子氏)

このような取り組みから平成 28 年に新たな発泡体として、植物由来のコーンスターチを主原料とした『エルココ®・フォーム』が誕生しました。

### 環境へのやさしさを 定量的に示す LCA への取り組み

続いて取り組んだのが、『地球環境にやさしい製品』を、客観的な評価で示すことです。

製品の環境負荷を定量的に示す『ライフサイクルアセスメント(LCA)』への取り組みは、以前からの課題でした。特に、地球環境保護への取り組みに力を入れているお客さまに製品を提案する際は、LCAの情報を求められることが多くなっています。

お話を伺った方



代表取締役社長  
おいづる  
**生出 治氏**



パッケージング事業部  
新商品開発チーム  
まりこ  
**鞠子 欣也氏**

「割ける人員も予算も少ない中小企業にとって、LCAの導入はハードルが高いのです。都産技研には、『LCAとはどのようなものであるか』から始まり、データ取得や評価の方法、結果の示し方まで教えていただきました。その結果、開発製品のLCA評価ができるようになり、現在、得られた結果をもとに、新製品の提案をしているところです。今後は他の製品の評価も行っていきたいです」(鞠子氏)

**さらなる材料開発と  
支援への期待**

さらに現在、植物由来原料100%の発泡体を目指して開発を行っています。

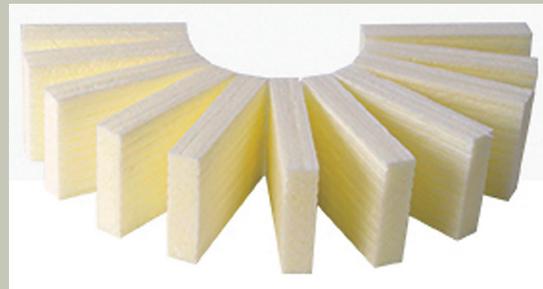
「植物由来原料100%にすると発泡を制御しにくいという課題があり、原料の特性についてもっと知る必要があります。都産技研には、そのための技術的な支援を今後もお願いしたいです」(生出氏)

活用した事業メニュー



**製品  
紹介**

**エルココ®・フォーム**



新開発したエルココ®・フォームは、高加工法による複雑な形状への対応、焼却処分可能であることによる処理コスト低減、低原料価格による材料コストの低廉化、抗菌作用(オプション)による要衛生用途への対応、植物由来原料使用による環境負荷の削減、そして低帯電性による埃付着防止といった特徴を備えた環境対応発泡体です。



**会社概要**

**株式会社 生出(おいづる)**

- 代表者：代表取締役社長 生出 治
- 創業：昭和 33 年 1 月
- 所在地：東京都西多摩郡瑞穂町大字箱根ヶ崎 1188
- URL：http://www.oizuru.co.jp

**■主な事業**

各種フォーム材を中心に低発泡樹脂ボード、PPシートなどの設計、加工、販売を事業の中核に置き、環境対応化を目指した21世紀型商品開発に挑む。



# パームサポーター 楽書

製品開発



**製品の概要** 高齢者の手の震えを軽減し、自力で書くことや食  
べることを楽にする福祉器具（無動力補助外骨格）

**販売開始時期** 平成 28 年 10 月 **販売価格** 8,800 円

活用した事業メニュー

機 技 実 セ 会

株式会社菊池ハイテクサプライ

**URL** <http://kikuchi-hs.co.jp/>

**所在地** 東京都八王子市美山町 2161-21

**業務内容** 産業用、家庭用各種ロボットシステムの販売・レンタル。自律制御型各種ロボット  
システムの販売・レンタル。介護福祉機器の販売・レンタル

## 課題

使用者への安全性の考え方や、人間工学に基づく性能の検証方法に課題がありました。また助成金の獲得など公的支援を受けるため、製品開発計画の立て方も課題でした。

## 都産技研の支援内容

技術相談や実地支援により安全性向上につながるアドバイスをしました。また実証実験の方法について助言を得られるよう、デジタルヒューマン工学に詳しい連携機関を紹介しました。

## 活用の成果

製品化についての知識を得られました。また技術研究会にて実証実験を行うことができ、安全かつ性能の高い製品の開発計画を立てたことで NEDO の助成金を獲得することができました。

# コードレスビニール溶接機 ジョインティー

製品開発



**製品の概要** 従来の電気式熱風溶接機の熱源をガスと触媒反応に変更  
した。電池とモーターにより送風するコードレス溶接機

**販売開始時期** 平成 28 年 2 月 **販売価格** 39,800 円

活用した事業メニュー

依 機 技

板橋匠屋本舗

**URL** <http://www.takumiyahonpo.net>

**所在地** 東京都板橋区宮本町4-8カーサドルチェ110

**業務内容** 工具製作

## 課題

製品性能の要であるノズルパーツの試作において、実際に熱を加え、  
空気の流れや温度上昇を正確に把握したいと考えていました。そのため  
には金属製のノズルパーツの試作が必要でしたが、形状から切削では  
作ることができませんでした。

## 都産技研の支援内容

金属 AM (3D プリンター) で試作品を作製しました。

## 活用の成果

実際の製品と同形状、同材質のノズルパーツを試作し検証できたこと  
で、性能を向上し、開発時間とコストを削減することができました。  
さらに、メタルインジェクション法 (MIM) の金型作製もスムーズに進め  
ることができました。

# 光コネクタ断線検出器 OCCR

製品開発

## 課題

海外展開も視野に入れて製品開発を行う中、海外規格へ適合させるために考慮すべきことが分かりませんでした。

## 都産技研の支援内容

MTEPにて、海外規格適合に必要な対策を説明しました。また適合のための共同研究を進めています。それを考慮しながら、製品内部の構造のシミュレーションや、AM(3Dプリンター)による製品全体の試作を行いました。

## 活用の成果

技術的なアドバイスを受けながら、海外規格に適合する形状のシミュレーションや試作を行い、先行して国内での製品化を実現しました。



**製品の概要** 発生直後では発見が難しい光コネクタ製品の断線が、OCCRであれば簡単な操作で微小な断線も検知が可能

**販売開始時期** 平成 28 年 4 月 **販売価格** 3,500,000 円

活用した事業メニュー 機 技 実 才 共

株式会社オプトゲート

**URL** <http://www.greenkonnec.co.jp/> **所在地** 東京都葛飾区高砂 8-27-20

**業務内容** 光製品全般の製造および設計を得意とする製造メーカー。光製品の信頼性評価、分析、技術支援、品質改善指導

# kulis ~くみひもうるしペン~

製品開発

## 課題

漆塗りの先端部分と組紐の持ち手を小さな金具で組み合わせたペンの開発で、金具と組紐の絹糸とが握っているうちに外れないように接合することが課題でした。

## 都産技研の支援内容

効果的な試作の方法についてアドバイスし、接合部分を AM(3Dプリンター)で試作しました。

## 活用の成果

時間とコストのかかる切削加工や金型製作を行わずに、適切な接合構造を検証することができ、世界で初めての「組紐ペン」を誕生させました。



**製品の概要** 伝統的な技法を使い絹糸を交差させながら紐状に組み上げる東京組紐と津軽塗りのパーツを合わせたボールペン

**販売開始時期** 平成 28 年 1 月 **販売価格** 28,000/30,000円

活用した事業メニュー 機 技

株式会社龍工房

**URL** <http://ryukobo.jp/> **所在地** 東京都中央区日本橋富沢町 4-11

**業務内容** 純国産絹糸を用いた帯締め、帯揚げの專業取扱い。和装小物製造卸(帯締・帯揚・羽織紐・その他)

# 居住区域内に設ける隔壁の材料(遮音戸)

品質証明



## 課題

SOLAS条約\*で船内騒音規制コードが強制施行されたため、船内の設ける遮音扉に対してISO10140による遮音性能(音響透過損失)の測定および評価が必要となりました。

## 都産技研の支援内容

都産技研は、上記の性能を測定する国土交通省に認められた試験場として、遮音性能の測定・評価を行いました。また、扉の材料の仕様やルーバーの設置位置などについて、遮音性能を向上させるためのアドバイスをしました。

## 活用の成果

当該コードに対して、国内初の型式認証を取得することができました。

\* SOLAS条約=海上における人命の安全のための国際条約

**製品の概要** 船内居住区域内に使用する扉で、船内騒音規制コード(重み付き音響透過損失  $R_w=30\text{dB}$  以上)を満たした製品

**販売開始時期** 平成 28 年 1 月 **販売価格** 非公開

活用した事業メニュー

依 技 共 セ

シンコウ株式会社

**URL** <http://www.shinkoh-gr.co.jp> **所在地** 東京都品川区南品川 2-2-7

**業務内容** 船舶用のアルミ製・鋼製家具および各種艦装品を中心に高品質の製品とサービスを提供

# 点字鋏「ハートビルマーカー」

品質証明



## 課題

視覚障害者用点字鋏の新製品開発にあたり、商品および工法の特許取得の為に接着強度等を確認するため、適切な試験方法を模索していました。

## 都産技研の支援内容

万能試験機による引張試験や圧縮せん断試験を行い、引っ張ったり上や横から押ししたりした際に剥離しないか強度を測定しました。また試験の結果に対し、接着面積など改善のためのアドバイスをしました。

## 活用の成果

取り付け後の状態で点字鋏の接着力等強度を評価することができ、改良することもできました。

**製品の概要** 点字鋏は施設の内外に敷設され、視覚障害者の方々を出入口から点字案内板などまで、歩行者をサポート

**販売開始時期** 平成 29 年 4 月 **販売価格** 300 ~ 4,500 円

活用した事業メニュー

技

株式会社エム・アンド・エフ

**URL** <http://www.mandf.co.jp/index.html> **所在地** 東京都大田区大森西 3-7-8

**業務内容** 視覚障害者用・点字鋏、蓄光シートの企画、設計、製造、販売、特許製品の開発および研究事業

# リフォーム畳®

性能評価



## リフォーム畳®の構造

表面シート材

下地板

畳床

表面シート材と下地板は貼着しています

### 製品の概要

衝撃吸収力・防音性・保温性のある洋室へリフォームできる畳。貼り替えて和室と洋室が自由自在に楽しめる

### 販売開始時期

平成 27 年 9 月

### 販売価格

28,000円～

活用した事業メニュー

依 技 セ

大山畳店

URL

<http://www.reform-tatami.com/>

所在地

埼玉県八潮市大字木曾根 684 - 1

業務内容

畳、リフォーム畳®の製造、販売

製品開発

品質証明

性能評価

海外展開

都産技研案内

## 課題

リフォーム畳®は、畳床を畳表ではなくクッションフロア等の表面シート材でくるんだ洋風な畳です。見た目は洋室であるが、衝撃吸収性があり、その性能を数値で表すことが課題でした。

## 都産技研の支援内容

衝撃吸収性の評価方法の相談を受け、リフォーム畳®、通常の畳、フローリング材等の各種床材に対して衝撃特性評価試験機を用いた試験を実施しました。さらに性能を向上させる方法についてもアドバイスをしました。

## 活用の成果

当店で開発したリフォーム畳®の優れた衝撃吸収力が数値的に証明されたことで、転倒時の衝撃をやわらげる等、製品のアピールポイントにすることができました。

# 竹チップボード

性能評価



### 製品の概要

未利用材の竹を適切に加工し、竹が本来持つ特性を活かした素材感のある内装および化粧材

### 販売開始時期

平成 29 年 4 月

### 販売価格

非公開

活用した事業メニュー

依 技

株式会社エスウッド

URL

<http://s-wood.jp/index.html>

所在地

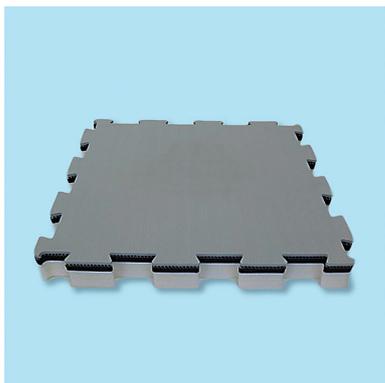
岐阜県各務原市須衛町 7 - 74 - 5

業務内容

岐阜県産間伐材など地域材を活用したストランドボードの研究開発、製造、販売。低利用植物資源のボード化による新素材開発

# 減音緩衝ジョイントマット

性能評価



**製品の概要** 階下への音を減少させるためのジョイントマット。児童保育施設や一般家庭向けに開発

**販売開始時期** 平成 28 年 9 月 **販売価格** 非公開

活用した事業メニュー **依 技**

セキスイウレタン加工株式会社

**URL** <http://urethane.spnc.gr.jp/>

**所在地** 東京都千代田区内神田2-15-9

**業務内容** ポリウレタン、発泡ポリエチレン、発泡ポリスチレンの加工並びに販売。建築・土木工事並びに資材の販売

## 課題

マットを敷くことにより、足音の下階への伝わりをどの程度軽減できるか、自社内では測定・評価することが困難でした。また、製品を改良していくために、技術的なアドバイスが必要でした。

## 都産技研の支援内容

床衝撃音レベル低減量測定により、足音の下階への伝わりにくさを定量的に測定・評価しました。製品が積層構造であるため、組み合わせを変えて試験・評価を実施し、最も減音効果の高いパターンを選定しました。

## 活用の成果

下階への減音効果について客観的なデータを取得し、お客さまへPRすることができました。またその性能が認められ、平成 28 年度キッズデザイン賞を受賞することができました。

# 自転・公転真空ミキサー

海外展開



**製品の概要** 自転・公転方式と真空減圧機能で吹きこぼれなしの攪拌機。2個掛け方式を採用し、攪拌・脱泡の同時処理可能

**販売開始時期** 平成 24 年 7 月 **販売価格** 非公開

活用した事業メニュー **実**

株式会社シンキー

**URL** <http://www.thinky.co.jp/>

**所在地** 千代田区外神田2-16-2

**業務内容** 自転・公転方式スーパーミキサーの開発、製造、販売。医療用具、医療用機械器具の製造、販売

## 課題

欧州規格(CEマーキング)の変更に伴う温度試験や部品の仕様変更への対応方法が課題でした。また欧州以外、中国等の地域へ輸出する際に必要な最新情報の入手が課題でした。

## 都産技研の支援内容

欧州規格が要求する温度測定や認証部品の使用方法および実機による安全構造評価、RoHS対応として製品含有化学物質管理の仕組みについてアドバイスをしました。

## 活用の成果

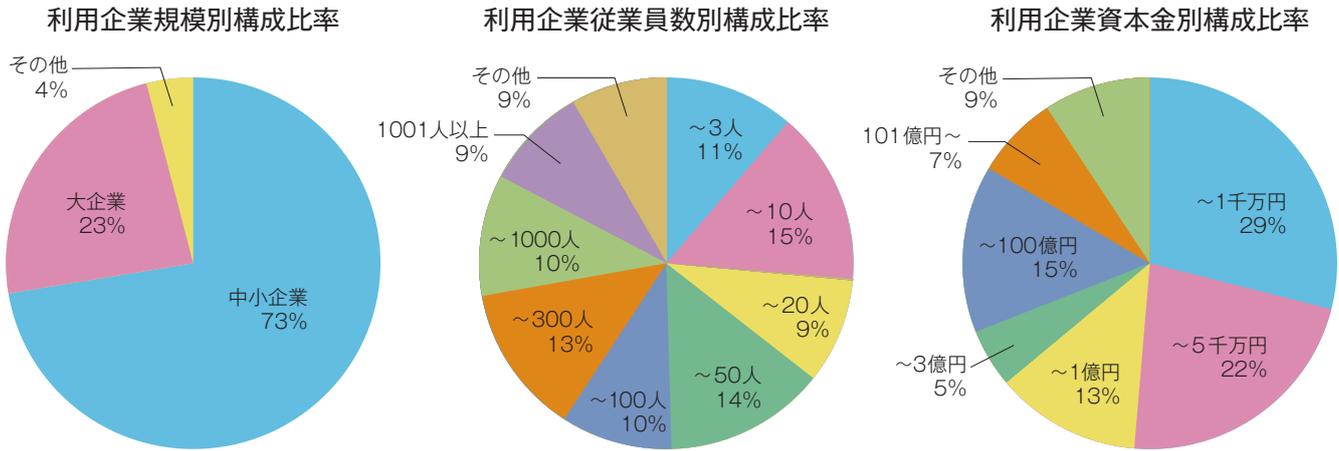
適用すべき規格が明確になりました。また、その規格の改訂を見越した対応を取ることができたため、仕様変更と費用を抑えることができました。

# ご利用企業の構成

## 1. 中小企業を支える都産技研

都産技研は約 24,500 の企業<sup>1)</sup> にご利用いただいています。

企業規模別では中小企業が約 70%、従業員数別では 50 人以下の企業が約 50%、資本金別では 5 千万円以下の企業が約 50% を占めています。



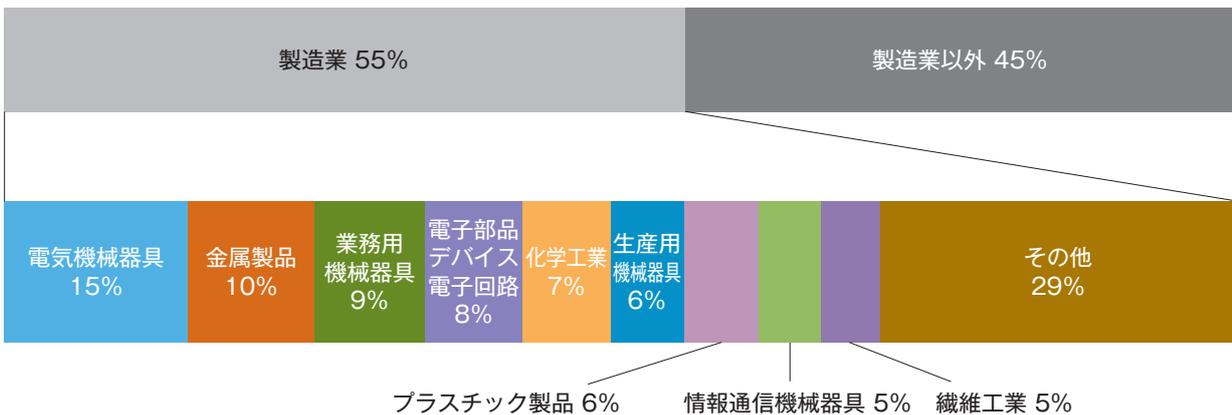
※都産技研全体の利用事業所数を集計

中小企業	小売業	資本金 5 千万円以下又は従業員 50 人以下の会社、個人事業者
	サービス業	資本金 5 千万円以下又は従業員 100 人以下の会社、個人事業者
	卸売業	資本金 1 億円以下又は従業員 100 人以下の会社、個人事業者
	製造業・その他	資本金 3 億円以下又は従業員 300 人以下の会社、個人事業者

## 2. ものづくりを支える都産技研

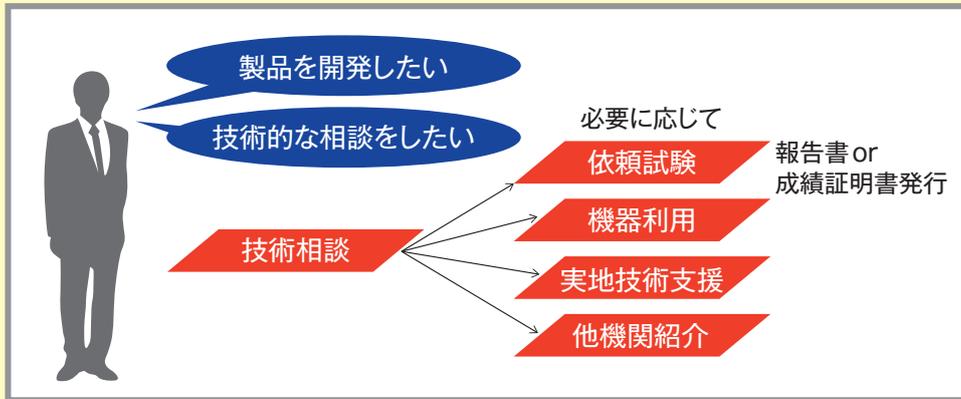
都産技研を利用されている企業<sup>1)</sup> の 55% が製造業です。また製造業のうち最も利用が多いのは、電気機械器具製造業で製造業全体の 15% を占め、金属製品製造業、業務用機械器具製造業と続きます。

利用事業所に占める製造業の割合



1) 過去 5 年間(平成 23~27 年度)における利用実績を基に集計。

# ご利用方法



## 本部のご利用手順

**まずはお電話ください**  
 本部 技術経営支援室 総合支援窓口  
 電話 03-5530-2140(直通)

**直接来所された方**  
 初めての方  
 ご利用カードをお持ちの方

**担当部署と  
ご予約のある方**

総合受付(9時~17時)で入館手続き

総合支援窓口で  
希望内容のご相談

総合支援窓口(9時~17時)で  
必要に応じてご利用カードを作成

担当部署と打ち合わせ(基本は日程予約をしてからになります)

依頼試験

機器利用

|||||  
 申込書および  
 承諾書の発行

必要に応じて  
ライセンス取得

料金のお支払い(前納)

|||||  
 払込窓口  
 |||||

現金・銀行・コンビニ・  
 デビットカード・クレジット\*払い  
 から選択

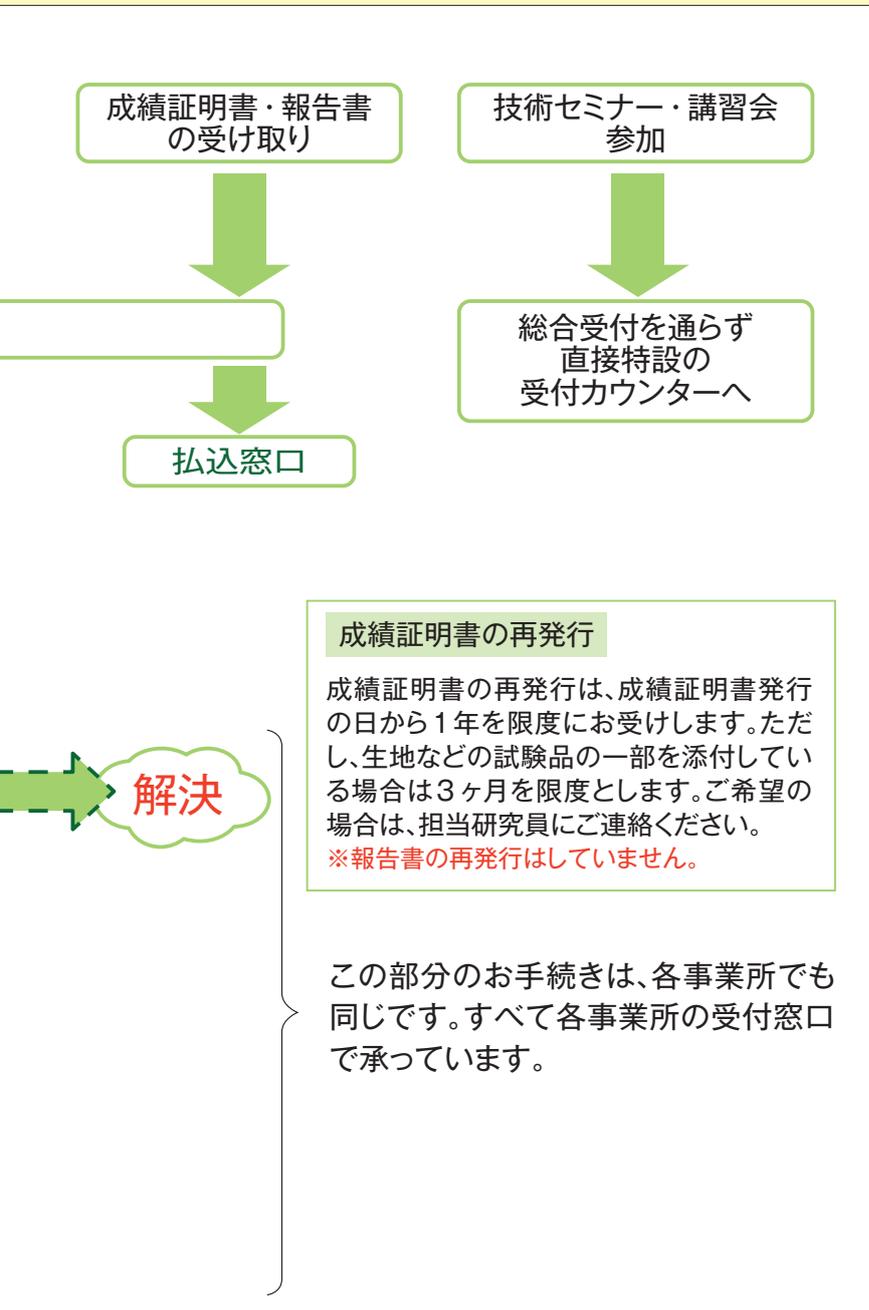
試験・  
利用  
実施

成績証明書等の試験  
結果・試験品の受け取り  
 払込窓口/郵送

延長等の  
差額支払

**※ご注意※**  
 機器利用で得た試験結果についての  
 都産技研の名義使用はできません。  
 また、証明書の発行も行っておりません。

※使用できるクレジットは、VISA、Master Card、UCのみです。  
 カード名義人名の利用控えのみ発行します。



ご利用カードとは?

都産技研に初めて来られたお客さまには、ご利用カードの作成をおすすめしています。

このカードがあれば、次回以降の都産技研ご利用時の各種手続き(入館手続き、依頼試験、機器利用など)をスムーズに行うことができます。作成時には、会社名、住所、連絡先、氏名等のご登録をお願いしています。

※ご利用カードは本部・支所共通してご利用いただけます。

都産技研の各種事業・ご利用方法はホームページをご覧ください。  
<http://www.iri-tokyo.jp/>

## 本部 Headquarters

〒135-0064 江東区青海2-4-10  
 下記以外のお問い合わせ  
 TEL (03) 5530-2111 (代表) FAX (03) 5530-2765  
 技術的なお問い合わせ  
 総合支援窓口 TEL (03) 5530-2140  
 輸出製品技術支援センター (MTEP) へのお問い合わせ  
 国際化推進室 TEL (03) 5530-2126  
 東京ロボット産業支援プラザへのお問い合わせ  
 〒135-0064 江東区青海2-5-10 テレコムセンタービル東棟  
 ロボット事業推進部 TEL (03) 5530-2558

### [交通]

#### 電車

- ゆりかもめ「テレコムセンター」駅前  
 「テレコムセンター」駅まで新橋駅から18分・豊洲駅から12分
- りんかい線「東京レポート」駅下車 無料送迎バス3分(徒歩15分)  
 「東京レポート」駅まで新橋駅から23分・池袋駅から28分

#### 車

- 都心方面から 首都高速11号台場線台場出口約2km
- 大田、品川方面から 首都高速湾岸線臨海副都心出口約1km
- 江戸川、葛飾方面から 首都高速湾岸線有明出口約3km



## 城東支所 Joto Branch



〒125-0062 葛飾区青戸7-2-5  
 TEL (03) 5680-4632 FAX (03) 5680-4635

### [交通]

- 京成青砥駅→亀有駅行バス  
 テクノプラザかつしか下車 徒歩1分
- 京成青砥駅下車 徒歩13分
- JR亀有駅→新小岩駅東北広場行バス  
 テクノプラザかつしか下車 徒歩1分

## 墨田支所・生活技術開発セクター

Sumida Branch Human Life Technology Development Sector

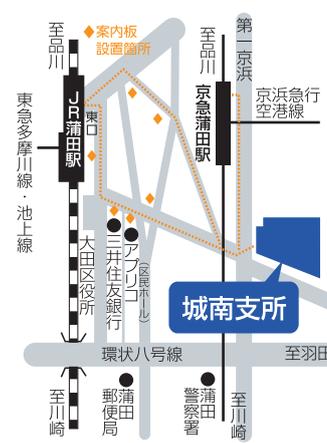


〒130-0015 墨田区横綱1-6-1 KFCビル12階  
 TEL (03) 3624-3731 (代表) FAX (03) 3624-3733

### [交通]

- JR両国駅下車 徒歩10分
- 都営大江戸線両国駅下車  
 A1出口 徒歩1分

## 城南支所 Jonan Branch



〒144-0035 大田区南蒲田1-20-20  
 TEL (03) 3733-6233 FAX (03) 3733-6235

### [交通]

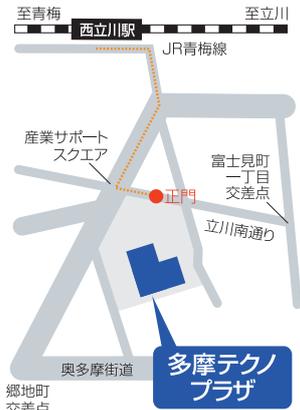
- 京急蒲田駅東口下車 徒歩5分
- JR蒲田駅東口下車 徒歩12分

## 多摩テクノプラザ Tama Techno Plaza

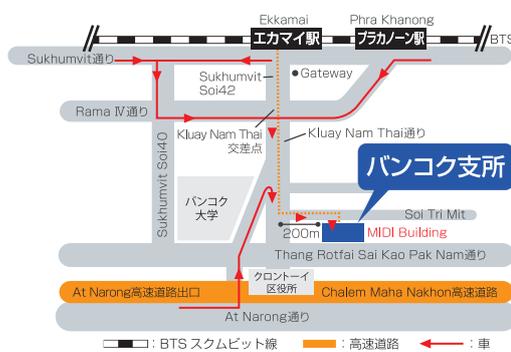
〒196-0033 昭島市東町3-6-1  
 TEL (042) 500-2300 (代表)  
 FAX (042) 500-2397

### [交通]

- JR西立川駅下車 徒歩7分  
 (産業サポートスクエア・TAMA内)



## バンコク支所(タイ王国) Bangkok Branch



MIDI Building, 86/6, Soi Treemit, Rama IV Road, Klongtoei, Bangkok 10110.  
 TEL 66-(0) 2-712-2338 FAX 66-(0) 2-712-2339

### [交通]

- Chalerm Maha Nakhon Expressway  
 Narong Expressway Exit から 約1km
- BTS Ekkamai (エカマイ) 駅下車 徒歩18分